



(令和7年12月12日発表)

『さんぴんと静岡のニューヒーローズ』発表公演の開催

◆アピールポイント	<p>★静岡市は、今年度から「演劇・ストリートシアターによる文化芸術創造拠点形成事業」を開始し、演劇を活用したまちづくりを行っています。</p> <p>★4人の表現者“さんぴん”的メンバーが、実際に呉服町に滞在し、市民と一緒に、呉服町名店街のまちや人々の歴史や思い出を繋ぎ合わせ、ひとつの“まちの物語”を立ち上げます。(市民協働アーティスト滞在型創作活動)</p> <p>★発表公演は、葵区・呉服町ビル前で開催。どなたでもご覧いただけます。</p>
◆日時・場所など	<p>①【滞在制作】…出演者ワークショップ及び稽古 令和7年12月13日(土)～20日(土) ※詳細スケジュールは別紙参照 貸しギャラリー青い麦(葵区呉服町2-2-22)</p> <p>②【発表公演】 公演名：さんぴんと静岡のニューヒーローズ 『BRAND NEW STREET 一呉服町、石畳だけは知っているー』 令和7年12月21日(日) 15時から16時30分まで 呉服町ビル前(葵区呉服町2-2-22)※少雨決行、荒天中止。 ストレンジシードHP：https://strangeseed.info/stair/sanpin.html</p>
◆事業など	<p>【演劇・ストリートシアターによる文化芸術創造拠点形成事業】</p> <p>★静岡市の文化芸術において強みがある「演劇・ストリートシアター」をまちづくりに活用する事業であり、今年度から文化庁の支援を受けて開始しました。</p> <p>★「演劇・ストリートシアター」の特性を活かした取組を行うことで、「多様な表現への寛容性」を育み、市総合計画で目指す「未来に夢や希望がもてるまち」の実現に寄与します。</p> <p>【市民協働アーティスト滞在型創作活動(アーティスト・イン・レジデンス)】</p> <p>★アーティストが静岡市に滞在し、市民と協働で作品を制作・発表します。</p> <p>★上記事業の主軸「まちを舞台にした演劇・ストリートシアター作品」として、今年度は2本の滞在制作を行い、今回がその第1弾となります。</p> <p>※詳細は別紙資料をご確認ください。</p>
◆備考	<p>【さんぴん】 …2015年、4人の表現者たちによって結成。『君の人生の断片は、誰かの人生の本編だ』をコンセプトに、日本各地に散らばるささやかで特別な人生の断片を繋いで“ひとつの物語”を紡ぎ出す、現代版旅芸人チーム。</p>

別紙資料 有 (事務局報道資料)

事前の制作過程&発表公演の
取材をぜひお願ひします！！

※ ①【滞在制作】…出演者ワークショップ及び稽古について取材いただける場合は、前日までに右記問合せ先へご連絡ください。

イベントカレンダーへの掲載 有

【担当】文化政策課 まちは劇場推進係
多々良・近藤・石野(電話:054-221-1229)

【問合せ】ストレンジシード静岡 事務局
かげやま
陰山(電話:090-2132-1810)

RELEASE

ストレンジシード静岡 STAIR – Strange Artist in Residence

さんぴんと静岡のニューヒーローズ

『BRAND NEW STREET – 呉服町、石畳だけは知っている –』

呉服町のエピソードが演劇に！？

12月21日（日）15:00、呉服町ビル前にお披露目します！



観
覧
無
料
！



予
約
不
要
！

呉服町はその名のとおり、かつては多くの呉服店やブティックが軒を連ね、今も昔も流行の最先端の“おまち”。

駿府の本町と呼ばれた頃から激動の時代を経て、このまちと人々が紡いできた思い出や歴史を、物語として立ち上げます。

さあー、老いも若きも生まれたても東西南北ブチヨヘンザ!!

2025年5月、GWの駿府城公園にダンボール天守閣を出現させ話題を呼んだ「ストレンジシード静岡」。

今回はパフォーマーと市民が力を合わせ、呉服町の「土地の記憶」を演劇にします！

地元商店街の方や、公募で集まった地元の出演者のエピソードを交えながら、1週間のワークショップで作品を作り上げます。

ストリートシアターフェスとして10年間、静岡市中心街で作品を届けてきた中で、「最初の滞在制作は静岡のおまちで行いたい」という思いが強くありました。

歴史ある呉服町を舞台に、この土地の記憶に出会い直すことで、観る人が“静岡のおまちをもっと好きになる”ような作品を届けたいと考えています。

日時：2025年12月21日（日）15:00

※小雨決行、荒天中止。中止の場合は当日10:00までにストレンジシード静岡公式Xにてお知らせ。

会場：呉服町ビル前（静岡市葵区呉服町2-2-22）

料金：予約不要・観覧無料

出演：さんぴんと静岡のニューヒーローズ

北尾亘、永島敬三、福原冠、板橋駿谷
(以上 さんぴん)

【公募参加者】 田中那夏、山本綾、山本晴也、山本侑香、渡邊清楓

日本大学国際関係学部 金崎ゼミ

終演後イベントあり（～16:30まで）

会場：貸しギャラリー青い麦／呉服町ビル1F

内容：さんぴんメンバーによるアフタートーク
滞在制作過程と呉服町の歴史写真展示

さんぴんプロフィール

2015年、板橋駿谷、北尾亘、永島敬三、福原冠の4名によって結成。

「君の人生の断片は、誰かの人生の本編だ」を掲げ、日本各地のささやかなエピソードを紡ぎ“ひとつの物語”を創り出す表現者チーム。滞在制作型のフィールドワーク・インタビューを重ねながら、地域固有の物語を立ち上げてきた。

東京芸術劇場アトリエイーストでの旗揚げ以降、札幌・仙台・那覇・津など全国各地で創作を展開。

2023年から創作ワークショップが始動し、大阪・福岡・岩手など未訪問地域でも活動を広げている。

2024年には三重文化会館で1週間のワークショップ＆発表会、2025年には大阪・高槻城公園芸術文化劇場でのワークショップと「プチ」発表会を実施し好評を博した。



今回の作品について

さんぴんは『君の人生の断片は、誰かの人生の本編だ』をキーワードに、土地に滞在し、出会った方々の人生のエピソードを借りながら、その土地でしか生まれない演劇を創り続ける“現代版旅芸人チーム”。

今回の静岡・呉服町での滞在制作は、さんぴん初の「野外劇」への挑戦となります。

9月上旬、呉服町をよく知るキーパーソンや、まちを見守ってきた“生き証人”に話を聞くリサーチを行い、12月には約1週間のワークショップを実施。地域の人々とともに、呉服町に息づく思い出や物語を丁寧に紡ぎ合わせ、ひとつの大きな“まちの物語”を立ち上げます。今回の作品は、呉服町の方々、呉服町を愛する方々とともに創り上げる、「呉服町だからこそ生まれた演劇」です。



協力（五十音順・敬称略）：

静岡呉服町名店街／大場江理登／鈴木通恵／中村陽史（やわたや）／堀高輔（三保原屋）



プロデューサー：菅沼新太、佐和ぐりこ

制作統括：若林康人

制作：蔭山ひさ枝

舞台監督：佐藤剛史

地域コーディネーター：井上泉（シズオカオーケストラ）

記録撮影：脇田友

広報・宣伝美術：山口良太

イラスト：町田早季

主催：ふじのくに野外芸術フェスタ実行委員会

企画・制作：ストレンジシード静岡事務局

助成：令和7年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

ストレンジシード静岡 STAIR – Strange Artist in Residenceとは

ストレンジシード静岡は、毎年ゴールデンウイークに静岡市街地を舞台に、演劇・ダンス・ワークショップなどを展開し、まちに無数の“なんだ？”を生み出すフェスティバルです。2025年秋、ストレンジシード静岡は新たな挑戦に踏み出します。アーティストがまちに滞在し、まちの人との交流や日常を素材に作品を創る滞在制作プロジェクト「STAIR (Strange Artist in Residence)」。ここで生まれるのは、静岡ならではの風景を背景にした、世界にひとつだけのストリートシアターです。

公式サイト：<https://strangeseed.info/>

X：https://x.com/strangeseed_sss

Instagram：<https://www.instagram.com/shizuoka.strangeseed/>

Facebook：<https://www.facebook.com/shizuoka.strangeseed/>

さんぴん静岡滞在制作スケジュール（12/13～12/21）について

今回の滞在制作では、公募した「呉服町にまつわるエピソード」を持つ市民と、オリジナルの物語を紡ぎます。そのため、13、14日には参加者のエピソードを集めるワークショップを行います。

その後、事前のリサーチも含めた台本を15日にさんぴんが執筆予定。

16日からは、本番に向けた稽古が始まります。



ワークショップスケジュール

12月13日(土)	14:00～19:00	さんぴん創作ワークショップ
12月14日(日)	13:00～18:00	さんぴん創作ワークショップ
12月16日(火)	18:00～21:00	本番に向けての稽古①
12月17日(水)	18:00～21:00	本番に向けての稽古②
12月18日(木)	18:00～21:00	本番に向けての稽古③
12月19日(金)	18:00～21:00	本番に向けての稽古④
12月20日(土)	10:00～20:00	リハーサル
12月21日(日)	10:00～19:00	リハーサル・本番・振り返り

WS・稽古会場：貸しギャラリー青い麦（静岡市葵区呉服町2-2-22呉服町ビル1F）

リハーサル

日時：12月20日(土) 15時～(予定)

場所：呉服町ビル前

※実際の場所(呉服町通り)でのリハーサルを予定しています。

ワークショップ期間中の取材は、いつでも可能です。
前日までに担当 蔭山までご連絡ください。

ストレンジシード静岡「STAIR - Strange Artist in Residence」第二弾

コスチューム・アーティストひびのこづえがプロデュースするダンスパフォーマンス『Are You ALICE?』の滞在制作を行います。ダンサー、音楽家、コスチューム・アーティストが静岡市に滞在し、新たなインスピレーションを受けた作品を創作します。

この滞在制作にあわせ、滞在アーティストによる「手づくり」「ダンス」「音楽」の各種ワークショップと、滞在制作の成果発表としての公開リハーサルを実施いたします。

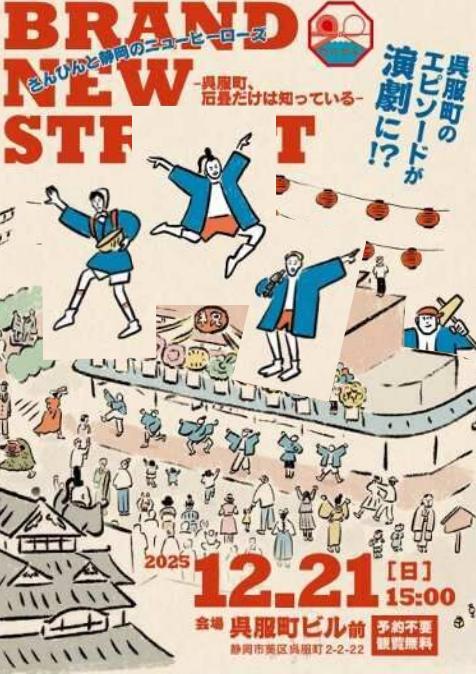
滞在制作期間：2026年1月17日(土)～1月25日(日) **現在、参加者募集中！**

ストレンジシード静岡 STAIR Strange Artist in Residence
さんびんと静岡のニュービーローズ
『BRAND NEW STREET- 吾服町、石畳だけは知っている-』

プロデューサー: 菅沼剛太、佐和ぐりこ 制作統括: 若林康人、制作: 茂山ひき枝
舞台監修: 佐藤剛史、地図考案: 田口良太 イラスト: 町田早季
企画・制作: ストレンジシード静岡事務局
主催: ふじのくに野外芸術フェス実行委員会
助成: 今朝7年年度 文化庁
文化芸術創造拠点形成事業
お問い合わせ: ストレンジシード静岡 info@strangeseed.info

ストレンジシード静岡 2026 開催決定!
ストレンジシード静岡は、静岡市街地を舞台に、まちに無数の「なんた?」を生み出すフェスティバルです。
ストレンジシード静岡
Street Theatre Festival "STRANGE NEW SHIZUOKA"
2026 5.3 SUN ~ 5 TUE
会場: 駿河府公園、青葉山・ハーバーロードなど静岡市内
料金無料・一般料・特別料金あり
主催: ふじのくに野外芸術フェス実行委員会
※本公演は2025年5月3日(日)に開催された「2025年版」を再演する形で開催されます。今朝7年年度
文化芸術創造拠点形成事業による助成を受け、「開催内容を変更する場合も可及的あります。」

strangeseed.info   @strangeseed_sss  @shizuoka.strangeseed 

BRAND NEW STF 
さんびんと静岡のニュービーローズ
吾服町、
石畳だけは知っている-
吾服町の
エピソードが
演劇に!?

2025 12.21 [日] 15:00
会場 吾服町ビル前 予約不要 貸切無料
静岡市葵区吾服町2-2-22

さあ!
古いも若きも生まれたても
東西南北フチヨヘンゲ!!

ON STAGE SHIZUOKA 

BRAND NEW STREET 
さんびんと静岡のニュービーローズ
吾服町の
石畳だけは
知っている-
2025 12.21 [日] 15:00
会場 吾服町ビル前
静岡市葵区吾服町2-2-22
予約不要 貸切無料
× @strangeseed_sss

※小雨決行、荒天中止。中止の場合は当日午前10:00までに
ストレンジシード静岡公式Xにお知らせします。


さんびん
2015年、板橋駿谷、北尾亘、永島敬三、福原冠の4人の表現者たちによって結成。「君の人生の断片は、誰かの人生の本編だ」をコンセプトに、日本各地に散らばるささやかで特別な人生の断片を繋いで「ひとつの物語」を紡ぎ出す、現代版旅芸人チーム。その土地に滞在し、フィールドワークやインタビューを重ね、ささやかなエピソードを繊やかに天まで飛ばす。

終演後イベント
○さんびんメンバーによるアフタートーク
○滞在制作過程と吾服町の歴史写真の展示(16:30まで)

会場: 買しギャラリー
青い麦 (吾服町ビル1F)

以上さんびん

北尾亘 永島敬三 福原冠 板橋駿谷 田中那夏 山本綾
山本晴也 渡邊清楓 日本大妻国際看護大学
金崎ゼミ

ご協力いただいた方々
大塚江理賀 鈴木通恵
堀高輔(三保屋謹)
※五十音順・登場略

さんびんは「君の人生の断片は、誰かの人生の本編だ」をキーワードに日本各地を巡ってはその土地に滞在し、出会った様々な方の人生のエピソードをお借りして、その土地でしか生まれ得ない演劇作品を立ち上げる表現者チームです。

今回の静岡・吾服町での滞在制作は、さんびんにとって初めて挑む「野外劇」。9月上旬にはリサーチとして、吾服町をよく知る方々——まちを支えてきたキーバーソンや、この地を見守ってきた生き証人のみなさん——にお話を伺い、街の歴史や記憶に触れました。そして12月には吾服町で約1週間のワークショップを実施。

さんびん独自の創作プロセスで、地域のみなさんと共に、吾服町に息づく思い出や物語を丁寧につなぎ合わせ、ひとつの大きな「まちの物語」を立ち上げていきます。

今回の作品は、吾服町の方々、吾服町に思いのある方々と共に、吾服町たからこそ生まれる演劇です。

STAIR -Strange Artist in Residence

ストリートシアーフェス「ストレンジシード静岡」がプロデュースする、アーティストがまちに滞在し、まちの人との交流や日常を素材に作品を創る滞在制作プロジェクト。ここで生まれるのは、静岡ならではの風景を背景にした、世界にひとつだけのストリートシアターです。